

2009年6月期
決算説明資料

株式会社 マクロミル

証券コード: 東証一部 3730

**2009年6月期
業績に関するご報告**

2009年6月期 決算概要

<連結>

(単位:百万円、%)

	第4四半期(4/1~6/30)			通期(7/1~6/30)			2009年 5月8日発表 再修正計画 (2008/7/1~ 2009/6/30)	達成率
	前期	今期	前年 同期比	前期	今期	前年 同期比		
売上高	1,747	1,724	▲1.3%	7,413	7,755	+4.6%	7,720	100.5%
経常利益	424	307	▲27.6%	2,157	1,753	▲18.7%	1,670	105.0%
当期純利益	227	181	▲20.3%	1,167	941	▲19.4%	900	104.6%

<単体>

(単位:百万円、%)

	第4四半期(4/1~6/30)			通期(7/1~6/30)			2009年 5月8日発表 再修正計画 (2008/7/1~ 2009/6/30)	達成率
	前期	今期	前年 同期比	前期	今期	前年 同期比		
売上高	1,537	1,574	+2.4%	6,372	6,866	+7.8%	6,840	100.4%
経常利益	417	387	▲7.2%	2,031	1,811	▲10.8%	1,750	103.5%
当期純利益	243	230	▲5.3%	1,195	1,054	▲11.8%	1,020	103.3%

2009年6月期 振り返り

✓ 再修正計画比 売上・利益達成、ただし前年比 増収・減益

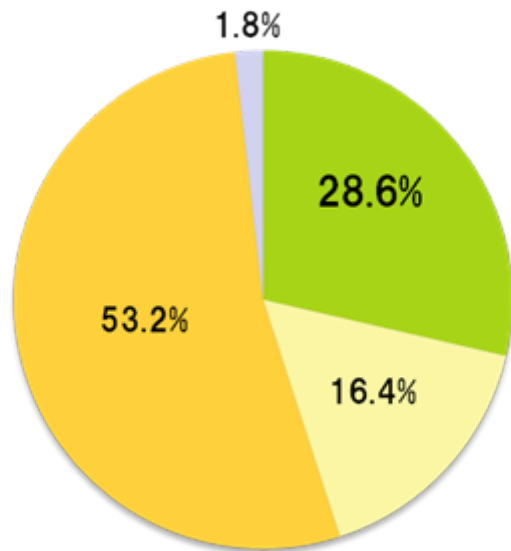
- 9期連続で増収増益を続けていたが、10期は2度にわたり業績予想を修正。修正計画は達成したものの、初めて増収減益の結果に。
(連結売上高104.6%、連結経常利益81.3%)

■ 主な要因

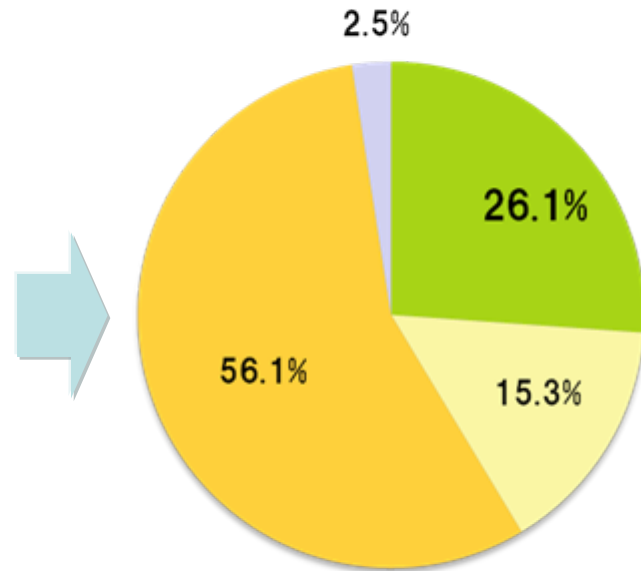
- ① **期初計画の売上未達**により、計画を見越して採用していた分の人員費用が収益を圧迫。
- ② 売上高の多くを占めていた**広告代理店からの受注が低迷**。
→調査発注が減少し、今まで見込んでいた収益が確保できなかった。
- ③ **競合が低価格戦略を打ち出した結果、業界全体の価格感が下降気味**になり、当初想定以上に、マクロミルも価格を下げることを余儀なくされた。
- ④ 海外市場競争が熾烈を極める中、海外のパネルプロバイダー事業への対応が遅れた結果、**連結子会社AIPの業績が低迷**した。
- ⑤ 昨秋以降拡大した世界規模の**景気低迷**も、少なからず業績に影響を与えた。

業種別売り上げ構成の推移(単体)

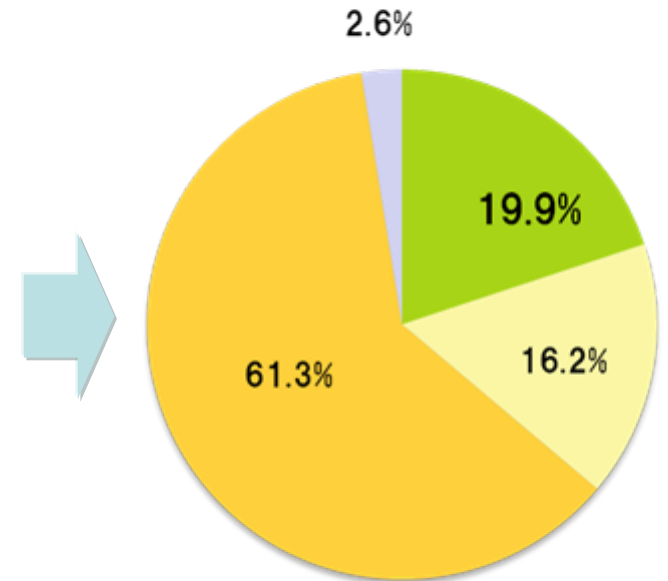
2007年6月期



2008年6月期



2009年6月期



■ 広告代理店 ■ 調査会社・コンサル等 ■ 一般企業 ■ 官公庁・協会・学校等

2009年6月期 業績関連指標

指標	単位	2007年6月期	2008年6月期	2009年6月期
平均受注単価	万円	65.5	65.4	68.1
平均受注単価 (自動調査のみ)	万円	48.9	48.5	49.0
年間稼働社数	社	1,248	1,423	1,446
年間稼働窓口数	窓口	3,359	3,874	4,062
VIP社数(注)	社	106	122	145
従業員数 連結	人	248	314	366
従業員数 単体	人	207	252	298
モニタ数	万人	52.1	72.5	86.1

(注)年間10百万円以上売上の顧客を重点顧客(VIP)企業と定義しております。

2010年6月期の計画

2010年6月期 業績予想

(単位:百万円、%)

	2009年6月期		2010年6月期		前年比
	金額	百分比	金額	百分比	

(単体)

売上高	6,866	100.0	7,300	100.0	106.3
原価・販売管理費	5,054	73.6	5,108	69.9	101.1
人件費	1,781	25.9	1,893	25.9	106.3
その他	3,273	47.7	3,215	44.0	98.2
経常利益	1,813	26.4	2,190	30.0	120.8
当期純利益	1,055	15.4	1,270	17.4	120.4

上期		下期	
金額	前年比	金額	前年比

3,550	101.2	3,750	111.7
2,547		2,561	
948		945	
1,599		1,616	
1,002	108.7	1,188	133.6
581	110.2	689	130.7

(連結)

売上高	7,755	100.0	8,067	100.0	104.0
経常利益	1,753	22.6	2,058	25.5	117.4
当期純利益	941	12.1	1,139	14.1	121.0

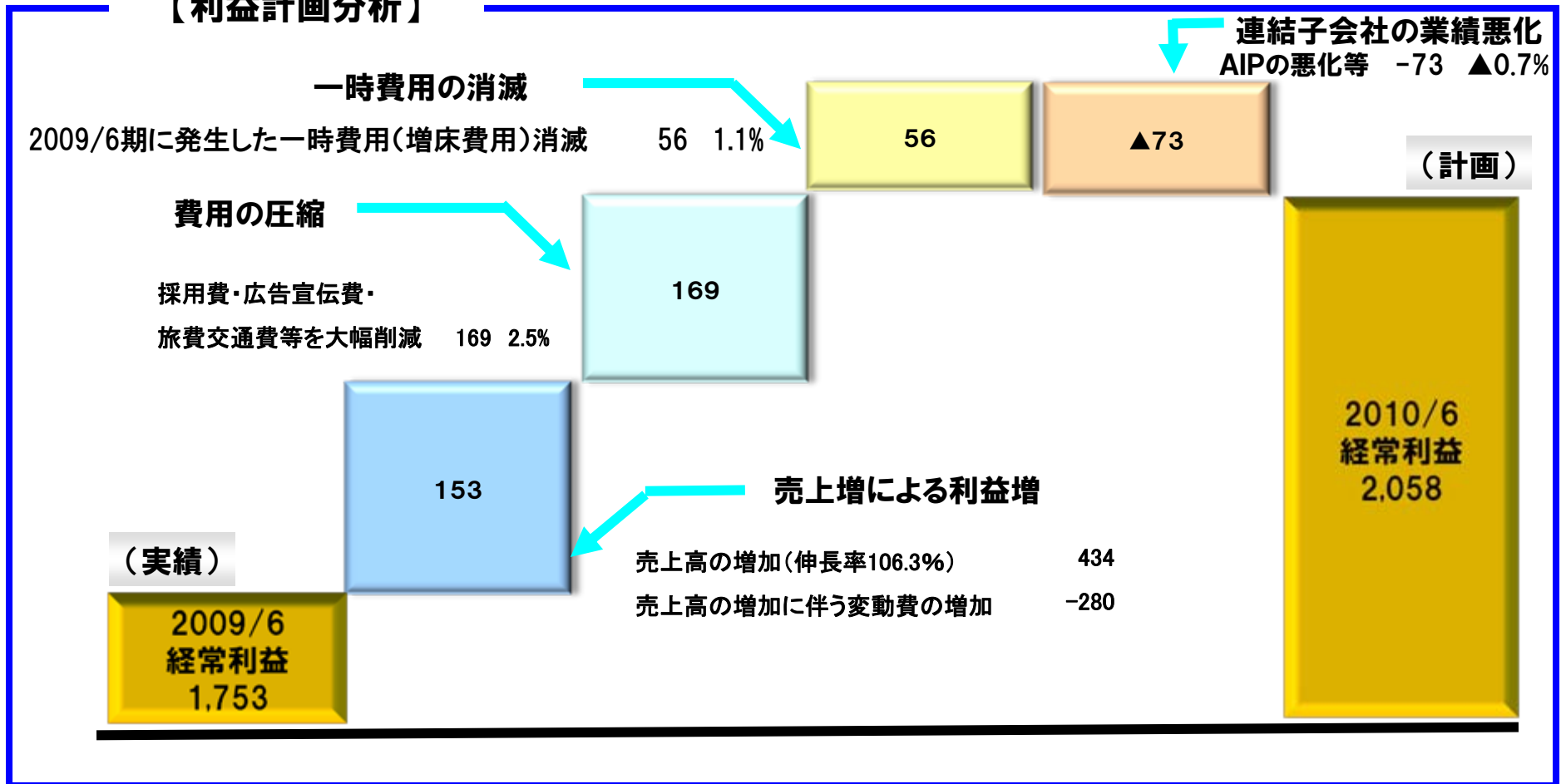
3,933	96.4	4,133	112.5
938	97.7	1,120	141.4
517	104.7	621	138.9

2010年6月期 業績改善計画

経常利益率は、前年比で単体:3.6% 連結:2.9%改善の計画。

(単位:百万円)

【利益計画分析】



2010年6月期計画のポイント

✓ 前年比 増収・増益させ、利益の劇的な改善を実現

➢ 増収(単体106.3%、連結104.0%)、増益(単体120.8%、連結117.4%)

✓ 2010年、年明けからの市況回復を想定し、売上を計画

➢ 景気回復の兆しがみられるものの、上期は前年並みの成長率(単体101.2%)とし、下期から本来の成長ステージへの回帰を見込む。(単体111.7%)

✓ コスト管理を徹底し、経常利益率30%(単体)で確保

➢ 10期下期から続けている費用削減施策を継続。
広告宣伝費、旅費交通費の抑制等コスト管理を徹底。

✓ 10期に種まきをした新サービスの事業化推進

➢ 新規事業 4億円、マクロミルコリア 2億円を今期計画。
➢ 売上高を支える新規サービスを継続投入。(ミルモバ等)

資本政策

株主還元の方針

- 余剰資金(含、自己株式)は、中長期的な成長を可能にする案件(M&A等)が発生した場合に活用を検討。
- 30%以上の連結配当性向を目指します。

◆第10期配当

3,300円(期末1,800円) 配当性向44.4%

◆第11期配当計画

3,300円(第10期と同水準) 配当性向34.5%

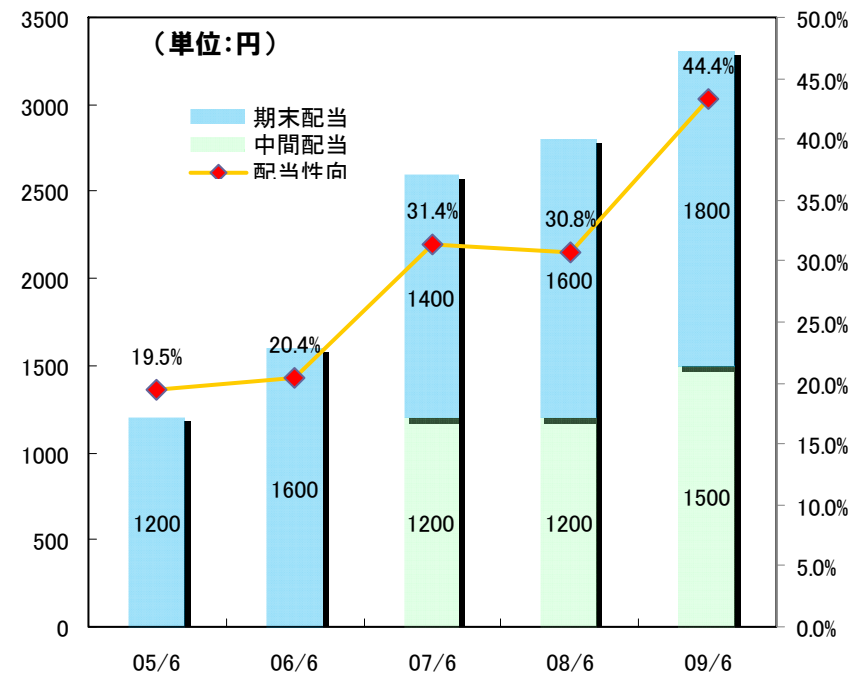
- 短期的な株価対策として自己株式の取得も検討。

- 従業員に対してSOを付与。

取締役に対して募集新株予約権を付与。

⇒ 株価が低迷した場合、消滅あるいは不利な条件となるSO(取締役・従業員が株価にコミット)

2009年6月末		(百万円)
運用資産(現預金等)		4,265
売掛金・固定資産等		2,984
買掛金等負債		1,340
純資産		5,909
	内、自己株式	447
総資産		7,249
自己資本比率		75.1%



今後のビジョンと取り組み

今後のビジョン

今期、マクロミルは「利益率」「成長率」「事業の成長規模」にこだわりながら、

次の10年に向けて、**収益力の向上**を目指すために、下記の3つの施策に取り組みます。

① ネットリサーチにおける多様な顧客ニーズへの対応

- **ロープライスニーズ**・・・既存サービスの見直しと価格対策、付加価値向上へ
- **ハイスペックニーズ**・・・顧客起点組織体制(連携)の進化と、リサーチ企画・提案力の向上

② 海外展開の推進と新規事業の創出

アドホックリサーチ受託事業の単一事業に加えて、次の**成長エンジン**となる事業の創出

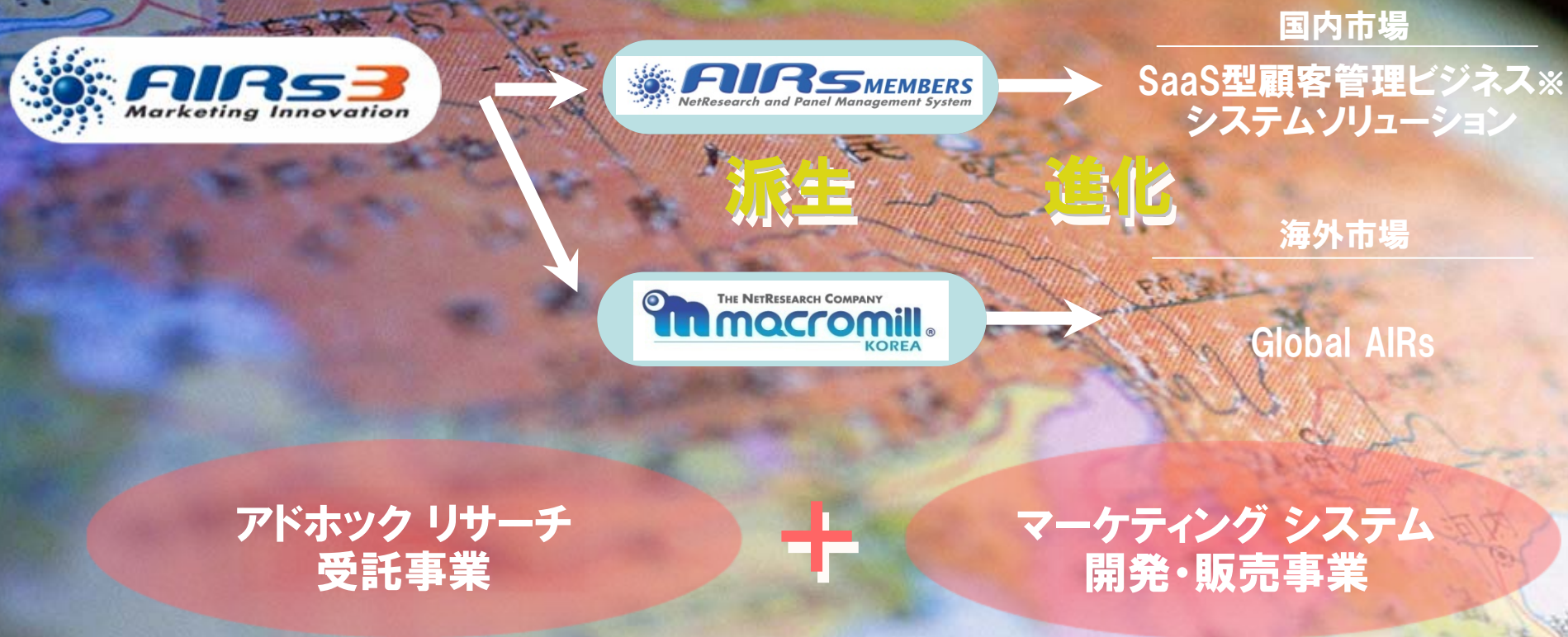
- 国内市場・・・(1) **データベースビジネス** QPRの拡販と進化、およびその他モデルの模索
(2) **マーケティングシステム開発 販売** AIRsMEMBERSの拡販、SaaS型顧客管理システムの進化の模索
- 海外市場・・・**GlobalAIRs展開** (韓国に続く、リサーチシステムAIRsの他国展開検討)

③ 経営判断のスピードUP

① ネットリサーチにおける 多様な顧客ニーズへの対応



②海外展開の推進と新規事業の創出



※SaaSとはソフトウェアをネットワーク経由のサービスとして提供・販売する形態であります。

新規事業・海外事業について

新規事業
11期目標：4億円

①QPR事業(DBサービス事業)

- 2007年12月サービス開始。1年半をかけて消費者データを蓄積（現在のパネルは6,000人）
- 2009年6月期は計画通りの売上を達成
6月単月では損益が黒字化
- 消費財メーカー中心に営業に注力
- DBサービス事業として、新しいステージを追求



②AIRsMEMBERS(SaaS型顧客管理ビジネス)

- 2009年5月サービス開始
- 2009年6月期は計画通りの売上を達成
- 自社会員を抱える大手企業より受注
- SaaS型顧客管理ビジネスとして、今後の戦略を検討

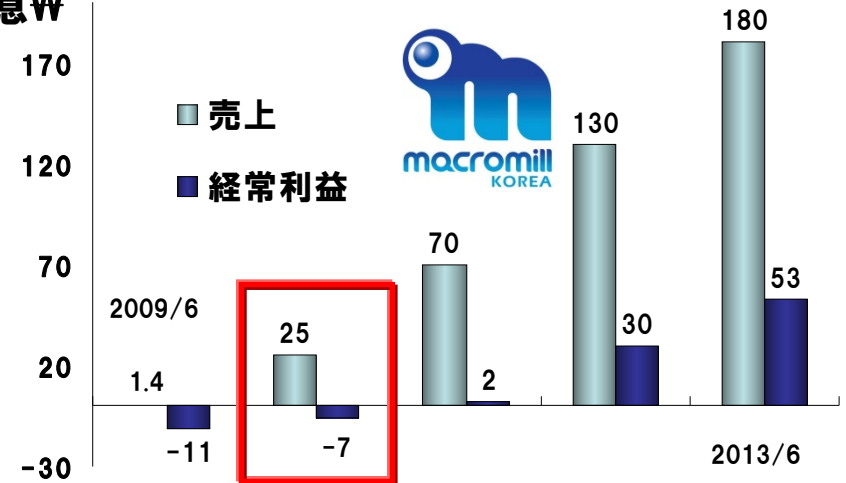


新規事業・海外事業について

③マクロミルコア(ジョイントベンチャー型海外展開)

- 2009年5月よりサービス開始
- 順調な滑り出し、既に150社程度接触
- パネル11.4万人(6月末)⇒今期末20万人
- 今年度売上を拡大、来年度黒字化
- JV型海外展開を引き続き検討

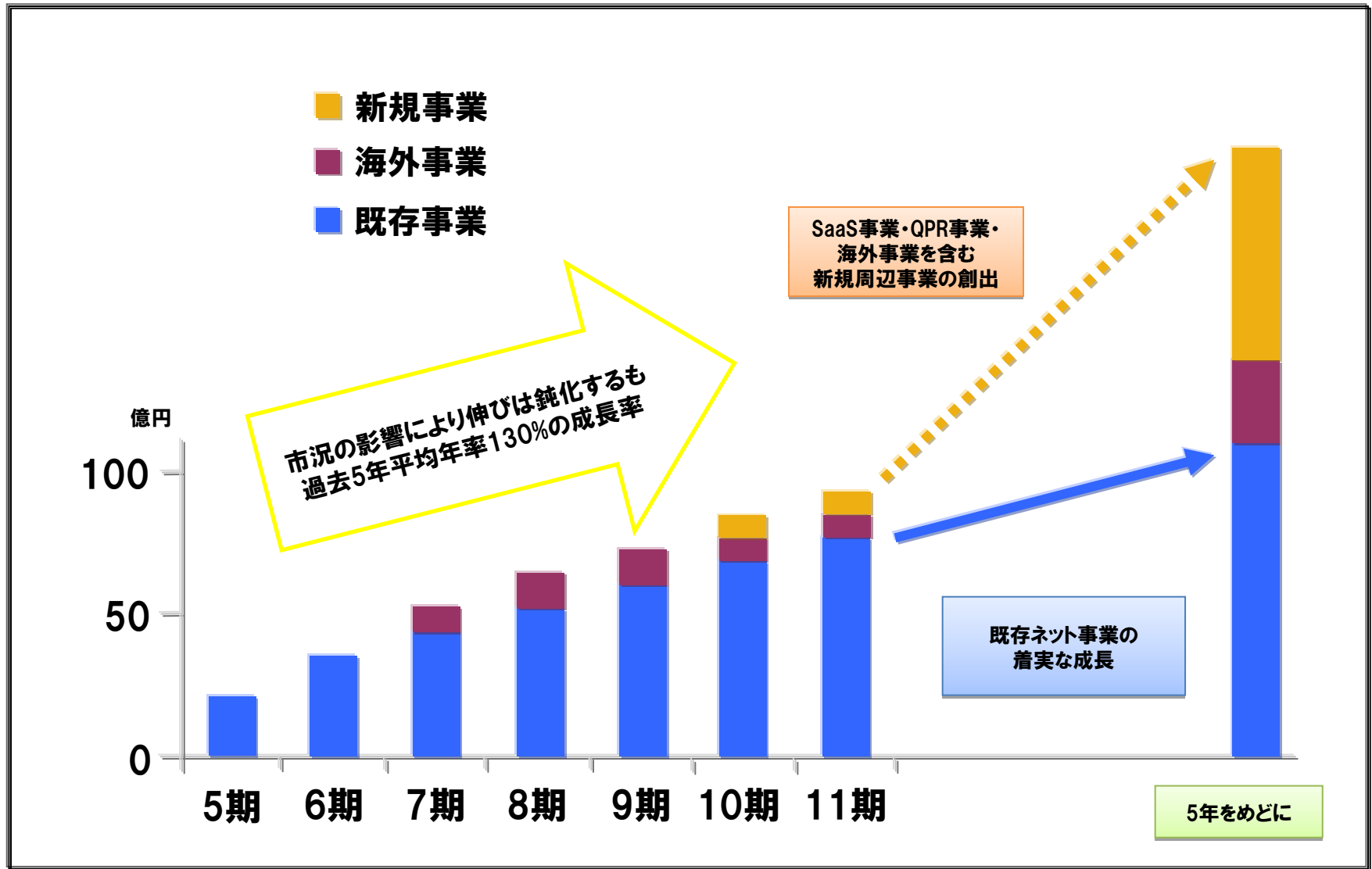
単位:億W



④GlobalAIRs

- 市況の影響でグローバル調査が低迷
2009年6月期:7.8億円 対前年▲15.9%
- グローバルミルの強化に向けた体制を整備
- これまでのノウハウを生かし、AIRsのグローバル展開

中長期成長イメージ



本資料に関するご注意

本資料の内容は、現在入手可能な情報から当社の経営陣が判断したものであり、その内容の正確性を保証するものではありません。

様々な要素により将来の事業を取り巻く環境が大きく変動することも考えられます。従いまして、将来の業績や結果につきましては、本日ご説明する内容と異なる可能性があることをご了承ください。

－本資料に関するお問合せ先－

株式会社マクロミル コーポレートストラテジー本部 ファイナンスユニット
TEL: 03-6716-0706(IR担当) FAX: 03-6716-0701
E-mail: ir@macromill.com